



撓まず 屈せず がんばろう 釜石！

尾崎白浜地区

発行：平成26年8月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

尾崎白浜地区における復興事業のうち、これまでの経緯、土地利用計画、今後のスケジュールについて説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。



開催概要	開催日：平成26年7月25日（金）	時間：18:00～18:45
	場所：尾崎白浜コミュニティー番屋	参加人数：25人

これまでの経緯

- 平成25年7月23日（火） 尾崎白浜地区連絡会
 - 土地利用計画図の提示
 - 今後のスケジュール
 - 災害危険区域の指定について

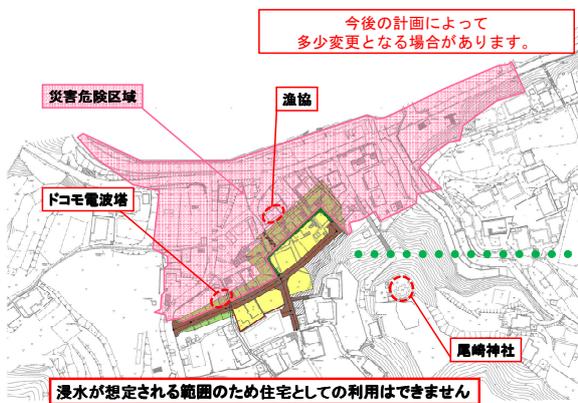
ご意見をふまえた計画の見直し



- 平成25年12月21日（土） 南ブロック安全祈願祭（平田）
- 平成26年2月10日（月） 現地に目印（丁張[※]）を設置 ※設計図面に示された位置と高さを現場に表示するもの。
- 平成26年2月11日（火） 浜のすまいを考える会

土地利用計画について

災害危険区域の設定



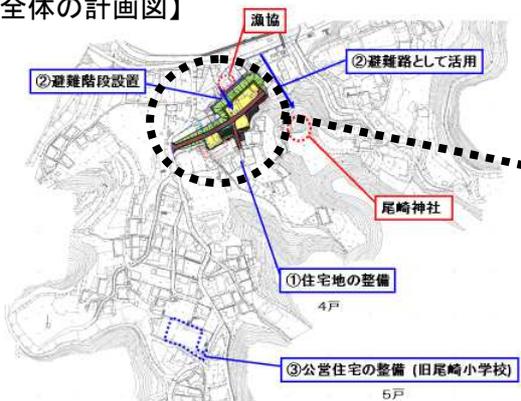
前回提示した土地利用計画図



【別資料 6.9 ページ】

現在の土地利用計画図（案）

【地区全体の計画図】



【「①住宅地の整備」区域拡大図】



【別資料 10.11 ページ】

事業実施スケジュール(案)

【尾崎白浜地区】

凡例
 黒：前回
 赤：実施

※進捗状況に応じて前後します。

【別資料 13 ページ】

地区	項目	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度		
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
尾崎白浜	まちづくり協議会		● H25.7				● H26.7 現時点									
	設計・協議(ポーリング調査含む)						→ 詳細設計: H25.10~H26.3									
	用地交渉						→ H25.7~H26.7									
	埋蔵文化財調査					→ H25.10~H25.12										
	造成工事															
	郵便局移設															
	公営住宅建設															

このような意見をいただきました

- 盛り土造成をすると、地盤調査で地盤が悪い場合、補強をしないと建築許可が降りないと建築屋さんから聞いたが、地盤は補強してもらえるのか？ 自分たちで補強すると何百万円もかかると聞いているが、地盤補強は無くても建築許可が降りるのか？

盛り土をする場合、一定水準の品質確保が必要で、一般住宅では 3 トン/㎡程度の地盤力を必要とします。そこで、それを目標にした強度で造成を行い、一般住宅ならそのまま建てられる地盤造成を行うことから、建築許可のための地盤補強はいらないと思います。しかし、例えば 3~4 階建てや特殊建物であれば、ある程度基礎を検討していただく必要があります。



- 造成地盤が緩くて建物が傾いたらどうなるのか？

地盤が緩んで建物が傾かないよう工事を行います。ただし、異常気象、大地震などがあった場合は、他地区と条件は同じと考えます。

- 東側に避難するための道路整備が厳しいのであれば、現在南東側の山で木を切る時に利用している途中の 3 区まで整備済の道路を活用し、避難所まで車で移動できるようにつなげれば、問題は解決すると思う。東日本大震災の津波時は橋を架け、高齢者の手を引き、背負って避難しなければならなかった。

木を運ぶための道路であり、勾配が急で幅が狭いなどの問題があります。

他地区でも横軸の避難路は、これから地域に入りどう整備したらよいかを詰めていくので、一緒に考えさせてください。ただ、車が通れる道の整備は難しく、他地区と共通の課題として取り組みます。

- 浜で仕事をしている人が、地震で津波が来る時に避難する場所は、車で行くことが必要なほど遠い。階段でも良いので、歩いていける一時避難所を確保することも視野に入れてほしい。皆足が速いわけではないので、お願いしたい。

防潮堤は、今ある位置での整備内容を検討中で 10 月末に結果が出ます。その後どのように、何年かけて整備するかなどの説明をしたいと思います。昔漁協支所があったところと船着き場近くなどに陸蘭※が数カ所にありましたが、どのような規模、予算のものを整備するかが決まれば、地元説明会をしたいと思います。また、漁港の復旧も必要な発注が 100%終わるので、地元で 7 月 30 日にその説明会を行いますので、その時に地元から意見をいろいろいただければと考えています。 ※堤防の役割を果たす開閉可能な門戸

復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思っています。1 日も早く工事を完成させたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
 釜石市復興推進本部

TEL : 0193-22-2111(内線 132)
 FAX : 0193-22-6120